学校番号	３０１７

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版　新編「数学Ａ」　（数研出版）						
副教材等	改訂版　書き込み式シリーズ教科書傍用パラレルノート数学Ａ（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は集中して聞き、ノートをきちんと取りましょう。自ら考え、積極的に発表や質問を行い、意欲的に取り組みましょう。
・問題は、途中式や考え方も書きましょう。各自で答え合わせをしてください。間違ったところは、答えのみを訂正するのでなく、つまずいた部分から書き写し、考え方を理解しましょう。
・提出物は、指示通りきちんとやり、期限を守って提出しましょう。期限を過ぎれば、受け取りません。
・できることを繰り返すことで本当の力になります。宿題や課題をやるだけでなく、予習や復習など自ら学ぶことが大事です。

２　学習の到達目標

図形の性質，場合の数と確率について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章　場合の数	1節　場合の数	a: 集合をそれぞれの場合に適した形で表すことができる。要素を書き並べて表して，集合の要素の個数を求めることができる。 b: 集合をそれぞれの場合に適した形で表すことができる。 c: 集合を考えることで，日常的な事柄などを，集合の要素の個数として数学的に数えようとする。	確認テスト 課題提出	確認テスト 課題提出	課題提出 提出ノート 振り返りシート 観察
2学期		2節　確率	a: 確率の意味を理解している。確率の定義に基づき，事象の確率を求めることができる。 b: 試行の結果を事象としてとらえ，事象を既知の集合と結びつけて考えることができる。 c: 和事象，積事象，排反，空事象，確率の基本性質を集合と関連づけて考察しようとする。	確認テスト 課題提出	確認テスト 課題提出	課題提出 提出ノート 振り返りシート 観察
3学期	2章　図形の性質	1節　三角形の性質 2節　円の性質 3節　作図 4節　空間図形	a: 平行線の性質を用いて，線分の長さを求めることができる。円周角の定理を用いて，角の大きさを求めることができる。 b: 作図の各過程において，平面図形のどの性質を用いているかを考察できる。 c: 数学で扱う作図と，日常において図形をかくことでは，何が違うか考えてみようとする。	確認テスト 課題提出	確認テスト 課題提出	課題提出 提出ノート 振り返りシート 観察
	3章　数学と人間の活動	1節　約数と倍数 2節　1次不定方程式	a: 公約数，最大公約数の意味を理解し，それらを求めることができる。 b: 問題解決の過程を振り返って，割り算の余りの性質について考察を深めることができる。 c: 日常生活における具体的な事象の考察に，約数と倍数の考えを活用しようとする	確認テスト 課題提出	確認テスト 課題提出	課題提出 提出ノート 振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度